

# 会 議 録

## 1 会議名

第3回津有区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

・指定避難所の見直しについて

○議題（公開）

・自主的審議につなげるための津有区の現状分析について

## 3 開催日時

平成26年7月7日（月）午後6時30分から午後7時40分

## 4 開催場所

公民館津有分館 1階 中会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：上杉勉、太田晃、小川和夫、草間美江子、手嶋千恵子、服部香代子  
平岡一夫、古川三男、牧繪雄一郎、牧野嶋剛、町田敏章、  
丸山彰、丸山美和子、丸山百合子、横田芳友（欠席1名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、恩田係長、小林主事  
防災危機管理課：岩野副課長、大島主任

## 8 発言の内容

### 1 開 会

#### 【小林主事】

定刻になりましたので、平成26年度第3回津有区地域協議会を開催いたします。  
本日の出席人員は15名です。菅野委員からは、欠席の連絡をいただいております。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。

## 2 挨拶

### 【小林主事】

はじめに、町田会長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

### 【町田会長】

本日は悪天候の中、勤務終了後にお集まりいただき、ありがとうございます。これから1時間程度、会議を開かせていただきますので、よろしくお願いします。

それから、本日は報告事項としまして「指定避難所の見直しについて」と、自主的審議について、これからの進め方についての2件ございます。

自主的審議については、「津有区のイメージアップと活性化に向けた方策」ということで、戸野目古新田の北側用地の有効活用策ということで、検討してきたのですが、具体的には「県立武道館の誘致について」の情報収集を行ってきました。その後、上越市に誘致されるということになっていると理解しているのですが、このテーマは使うにしても、市に対して具体的な意見や提案をするのも、なかなか難しいだろうというふうに考えますので、今後テーマを変えて進めて行きたいと思っています。その辺をフリートークでやって行きたいと思いますので、よろしくお願いします。

### 【小林主事】

ありがとうございました。それでは、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長から議長を務めていただきます。町田会長、よろしくお願いします。

### 【町田会長】

それでは、以降の議事進行を務めてまいりますので、ご協力をお願いします。なお、終了時間を概ね午後7時30分と予定していますので、スムーズな進行にご協力をお願いします。本日の会議録の確認者は、名簿順により、平岡委員をお願いします。

## 3 報告事項

○指定避難所の見直しについて

### 【町田会長】

それでは、防災危機管理課からご説明いただきまして、その後、意見や質問等があれば、発言していただきたいと思います。よろしくお願いします。

### 【岩野副課長】

当課では3月末から6月中旬にかけて、「指定避難所の見直しについて」市内の各地域自治区ごとに意見交換会を実施してきました。こちらで指定避難所の見直しの案を提示させていただいて、それについて、地域の皆さま方からご意見をいただいた上で、両者合意の上で、見直しを行うという形で進めてまいりました。

4月30日と6月5日に意見交換会を開催させていただきました。津有区の委員の皆さまにもご案内したのですが、2回目の6月5日は地域協議会と重なってしまい、なかなか参加いただけなかったということで、6月5日に各町内からご理解をいただいて津有区の指定避難所を確定させていただきました。改めて、経過と市の考え方、決定した内容について報告させていただきたいと思ひまして、伺わせていただきました。担当の大島から説明させていただきますので、よろしくお願ひします。

**【大島主任】**

避難所の見直しの経過ですが、これまで避難所の開設に係わる町内会等々と意見交換してまいりました。その結果、今回市が指定する避難所が確定しましたので、この場をお借りしてご報告させていただきます。

—資料に基づき説明—

**【町田会長】**

ありがとうございます。それでは、皆さんから質問をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

**【丸山彰委員】**

前回の会議に私は出席したのですが、上新町の話が出ましたよね。三郷小学校が近いというようなことも、付け加えてお話しの方がよいのではないですか。

**【大島主任】**

そうですね。「津有区の中にお住まいなので、津有区内の避難所に行ってください」ということではありません。隣の区でも、そちらの方が近いという事であれば、そちらの小学校なり避難所に避難していただいても、差支えありませんので、ご理解いただきたいと思ひます。

**【町田会長】**

今の話と関連しますけど、1.5キロメートルの円形を描きますと、虫川と荒屋の地区については、戸野目小学校から外れていますよね。小猿屋小学校に避難していただきたいという話になるのですか。そこについては、虫川や荒屋の住民の人は了解したとい

うふうに認識してよろしいでしょうか。

**【大島主任】**

小猿屋小学校に行かれるか、戸野目小学校に行かれるかというのは、町内会の中でご検討いただきたいところですが、お聞きしている中では、小猿屋小学校よりも戸野目小学校の方が小学校区内ですので、コミュニティもあると思うので、どちらに行くかというのは、ご町内でまたご検討いただきたいと思います。

今、お聞きしている中では、長期間ということになれば、戸野目小学校の方がよいかと思います。

**【町田会長】**

そういうことですね。

**【大島主任】**

どちらに行かれるかという事は、ご町内の中で決めていただきたいと思います。

**【岩野副課長】**

意見交換会の時に、直接お伺いした方がよろしいということで、直接お話し合いをさせていただいて、そういった話を伺ってから、訂正していただくという話になっております。

**【町田会長】**

わかりました。確認ですけど、先ほどのご説明では1.5キロメートルから2キロメートルというのは、何か法律で決まっているのですか。それは、どこかの研究所が考えたのですか。法律自体には、何キロメートルとかというのは載っていないのですか。

**【大島主任】**

法律の中では、2キロメートル以内というのはございません。1.5キロメートルから2キロメートルというのは、「消防科学総合センター」というところが参考ということで、避難移動限界距離ということです。

**【町田会長】**

そうすると、上越市としては一応今回指定するに当たって、全ての指定する場所については1.5キロメートルの円で描いたもので、上越市としては考えたわけですね。ある部分は2キロメートルにしたり、ある部分は1.5キロメートルにしたりという、条件によっての要素を管理はしていないということですね。一律1.5キロメートルという認識でよろしいですか。

【大島主任】

そうですね。

【町田会長】

わかりました。他に皆さんいかがでしょうか。

【牧繪委員】

指定避難場所には当然、毛布とか食料とかが置いてあると思うのですが、緊急指定避難場所には、常備しておくのでしょうか。

【大島主任】

指定避難所には備蓄品を常備することは考えておりますが、緊急指定避難場所には、今現在では備蓄を置くということは考えていません。一時的に避難していただく場所ということもありますし、各町内会の中でご協力いただきながら、ご用意いただくという事になります。今後どうするべきかというのもございますが、今現在の見直しにおきましては、指定避難所のみということになっておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

【牧繪委員】

わかりました。

【町田会長】

他にいかがでしょうか。最後に確認させてもらいますと、先ほどの説明で、各町内会との意見交換会を4月30日と6月5日に行ったということですが、意見交換された地区の意見が、今回これに反映されているというふうに、我々としては認識してよいということでしょうか。

【岩野副課長】

こちらで新規で追加された避難所については、意見交換の中で要望があったものということで理解いただきたいと思います。

【草間委員】

これは、自主的避難ですよ。例えば、動けない爺ちゃん婆ちゃんはどういうふうな対策になるのですか。

【大島主任】

高齢者支援課と一緒にやっているのですが、災害時の支援者を個別計画ということで、避難にお手伝いが必要な方は、地域の方で協力して避難していただきたいという

ことで、各町内会でどうやって避難させるかという計画を作っていたきたいということをお願いしているところです。

**【丸山百合子委員】**

うちの町内では、防災訓練をやるときに、嫌な人は提出しませんが、個別に住民票みたいなものに、「こういうお年寄りがいる」とか、その家の家族構成といったような詳しいことを書いて、町内会長が管理して、災害時に活用するとういう事を地域でやっています。

**【岩野副課長】**

意見交換会の時に、高齢者支援課も一緒に同行させていただいて、ご説明をさせていただいているのですが、今迄も個別計画というのをお願いしていたようなのですが、去年の法律改正によって、市も積極的に係わるという事になりましたので、わからないことですか、なかなか返事をしていただけないとか、困ったことがありましたら、高齢者支援課とご相談いただいて、作成していただきたいと思います。

そういった方々については、あらかじめ災害が発生したときに、どのような形で支援して避難するかということ、自主防災組織等や町内会であらかじめ決めておいていただきたいと思います。

災害が発生したときには、去年の台風18号の時もそうだったのですが、災害の状況に応じて、市から避難準備情報ですとか、避難勧告ですとかの発令をさせていただきますので、それらを参考にしながら避難を進めていただきたいと思います。

**【草間委員】**

もう1つよいですか。先ほど毛布等の話がでましたが、食料品の備蓄は何日分くらいあるかを教えてください。

**【大島主任】**

今、小学校等に備蓄を置いているのですが、数はたくさん置いていません。60人の2食分ということです。基本的には各小学校には、なかなかたくさん置けませんので、直江津ではカルチャーセンターが備蓄庫になっており、集中保管しております。備蓄してある食べ物は、レトルトのご飯、レトルトのカレー、パン、おかゆ缶、魚の缶詰といったものを備蓄しております。避難が長引くという事になれば、民間企業、食品企業といったところからもご支援いただくということで考えております。

**【草間委員】**

今の世の中、何時間待っていれば大丈夫ですか。

**【大島主任】**

それが、なかなか行政の支援が届くには時間が掛かるので、何時間というのは難しいのです。ですから、市民の皆さんにもお願いしていますが、ご家庭でも3日分の食料の備蓄をお願いしたいと思います。自助共助という言葉もございますが、ご協力をお願いします。

**【岩野副課長】**

市民の皆さまからも、事前に備蓄して準備していただきたいと思います。8月15日に出します「防災ガイドブック」にも必要な準備品などもまとめて記載されていますので、是非皆さんからも食料などの備蓄品をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

**【町田会長】**

まだご質問もあるとは思いますが、時間も押していますので、このへんで終わりにしたいと思います。

各地区で、色々な疑問点などがありましたら、防災危機管理課に問い合わせをすれば対応していただけたと思います。それでは、これで防災危機管理課のかたは退席となります。どうもありがとうございました。

—防災危機管理課 退席—

#### 4 議 題

○自主的審議につなげるための津有区の現状分析について

**【町田会長】**

それでは、本日の議題に入ります。4議題、自主的審議につなげるための津有区の現状分析についてです。

最初の挨拶のときもお話申し上げましたが、今まで戸野目古新田の北側の空き地について、有効利用ということで検討してきましたけど、形としては武道館の関係が設置されるというふうな運びになってきていることと、市議会議員の方々との意見交換会に出席させてもらって、「その他の空き地の部分については、今後どのように考えているのでしょうか。」という質問をさせてもらったのです。形としては、武道館の設置の後にならないとなかなか方向性が出てこないというようなお話でしたので、この

件については、あまりつつこんでやっても結果として議論に議論だけで終わってしまうのではないかと思いますので、改めて何をやるかというテーマをここでオリエンテーリングしたいと思います。よろしくお願いします。

事務局が準備してくれた参考資料を①から見ていきますと、地域課題の把握、それから検討事項の選定、という格好で動いてきています。地域課題の把握については、津有区地域協議会委員は考えを今後検討していきたい事項ということで、ここに4つほどにまとまっていますが、これが課題だと理解してよいと思います。

その中の、戸野目古新田の件については、④の「津有区のイメージアップと活性化に向けた方策を検討したい」という中の一番下に書いてあるところで検討していきたいと思います。従って、この4つの中で検討を進めていく格好になるのか、それに新たに付け加えるというのも出てくるとは思いますが、例えば津有区のイメージアップと活性化に向けた方策を検討したいという中に、前島密氏の業績について色んなところで言われていまして、津有区の人でないのですが、高田の人で、前島密さんが色んな業績を残してきたのだということで、その対応をしていきたいというような考え方がいらっしやいます。そういう部分も津有区のイメージアップに繋がるので、ここに付け加えてもよいのかなと思います。

それから、資料No.2ですが、分析報告ということで、大分前にやったことで、忘れた部分もあるのですが、「強み」というのがあって、真ん中に「機会」、次に「脅威」というのは弱点みたいなものですが、これを集約して出てきたのが今の資料No.1の方に繋がってきているのかなと思います。その辺のことについて、事務局から見かたを教えてください。

#### 【恩田係長】

おさらいということで、振り返りをさせていただきたいと思います。まずは地域の現状を把握しようということで、いきなり「これから何をしたらよいですか」と言われても、なかなか出てこないのが実際かだと思いますので、そこでこの資料2の「SWOT」をしていただいたわけです。

津有区にとって、「強み」「弱み」「機会」。「機会」というのはチャンスですね。あとは「脅威」恐れですね。それぞれ、どんなものがあるだろうということで、挙げていただきました。そして単に、「強み」をもっと強くするとか、それだけの発想ではなく、クロスさせる。



資料にも書いてありますが、例えば、「強み」によって「機会」を最大限に活用するために取り組むべきことは何かであるとか、右下の「弱み」と「脅威」により最悪の結果を回避するために取り組むべきことは何かというようなクロスした形の思考の展開によって、新しい発想が出てくるのではないかと期待したわけです。その結果、資料No.1のように集約して4つをまとめて、どうしても大きな話と小さな話が同時に飛び交ってしまうので、それを交通整理したのが資料No.2です。

先ほど、町田会長からお話がありましたように、戸野目古新田の件は、進めてみたものの、ちょっと難しい部分もあるということで、一旦戻ろうということでこの資料No.1の4つの項目の所に立ち返っていただくということです。今日は、時間も経過していますので、皆さんこれまでの審議のご経験の中で新たなお考えもあろうかと思えますので、本日はこれを全部消すわけではないのですが、一旦リセットした思考で話し合いをしていただくとよいと思います。

#### 【町田会長】

わかりました。今ほど、事務局からお話ありましたので、見方については皆さんお分かりになったと思いますし、集約して、こんな格好になったということも、お分かりだと思います。

その他にも付け加えることも含めて、本日はどういう方向で行くかというところまで考えておりませんので、フリートークで進めていきたいと思えます。ここに係わる事なら何を言ってもらっても構わないので、左回りで一言ずつ話してもらい一回りしたら、この会を閉じたいと思えます。

#### 【牧野嶋副会長】

1年ぶりなので、大分忘れていたところもあったのですが、さっきも言われたように、戸野目古新田の用地に関しても、一応凍結ではないですが、話が前に進みづらいということで他の話題に切り替えていった方がよいと思えます。

個人的に思う中で、一番危機感を持っているのは「少子高齢化」なんです。実際に小学校、中学校とかと接してきている世代なので、子供の児童数や生徒数が着実に年々減ってきていると。それは、どの地域を見てもそうです。

という事で、この人の流れとか時代の流れは変えられないかも知れないですけど、何か意見はないかと、提示することができればよいのではないかなと、ぼんやりと考えています。私自身、まだちょっと考えがまとまっていませんが、そんな感じです。

意見交換していきましょう。

**【横田委員】**

私は「自主的審議」自体に疑問を持っています。この審議自体に。

**【町田会長】**

それは、どういうことですか。

**【横田委員】**

この中に、一応問題が出ていますね。今どうですか、我々、協議会が人口減少問題を奮起して何かできるのか。それはまず不可能ですよ。増加させるために、我々が議論しても、少子化に対応するコミュニティのあり方、これは我々が切り盛りしても、何の権限もないし、どこにもものを申してよいのか分からない。

だから、もし地域でやるのであれば、会長がさっき言っていたように「前島密」がよいと思います。津有区で自主的審議をするならば、その「前島密の会」とタイアップして何か我々が手助けすることがあるのか、無いのかと。そして、それに資金が必要であれば、この支援事業の中で出すことができるのか、できないのか。そういうことを話し合っ、勉強会をして、それによって進んだ方が私はよいと思う。

あと、他に議題で言えば、私はふれないほうがよいと思います。

**【町田会長】**

横田委員が言われたことについては、この資料に自主的審議による到達目標というのがあって、要は市にこうしてくださいというふうな意見の提案とかは出せる、というのが1つ。

もう1つは、適当な自主主体というのが「前島密」を顕彰しようという会がよその地区である。で、その人たちと一緒に取り組みながら、必要であれば地域活動支援補助金を活用できるとなっているわけですから、これを使って動くということですので、私としては横田委員の考え方も分かるのですが、やはり話の話だけで終わるというのではなくて、進められるというふうに私は思っている。そこは、横田委員の考えなので、分かりました。

**【丸山百合子委員】**

私は、高齢者の健康維持増進に向けた地域づくりを行う取組を検討したいです。今、どこの集落もそうだと思うのですが、寝たきり老人や老人だけの世帯が結構増加しています。ですので、町内の中で協力してもらって、健康づくりも町内で出来るよ

うにお願いしたいと思います。

#### 【丸山美和子委員】

私も、毎週金曜日に仕事で高齢者とのふれあいがありまして、やっぱり出て来てくださる人は決まっています、なかなか人数が集まらないのです。それで、市からも口腔ケアや、配送付きを手配してもらっているのですが、それが凄く勿体ないです。私も、通達はしているのですが、80歳代の方は出てきてくれているのです。10人くらいですが。でも、70歳代の方はいません。家に閉じこもっているのか、特に男性が少ないです。何人か出て来られれば、集まると思うのです。そういうのを、なんとかしていきたいと思います。

#### 【丸山彰委員】

隣の丸山委員が言われたように、協議の部分は人がだんだんいなくなる。これは、やっぱり「機会」と「チャンス」と「強み」、そしてその下に「弱み」があります。

私はさっき横田委員と会長がおっしゃったように「前島密」。この前、町内会長会議があったときに、高田高校を卒業した人で7～8人のグループがあるそうです。その人々が荒井町内会長に寄ってきて、色々投げかけたのです。その時に、地域活動支援事業で何とかならないかというようなことを訴えてきたのです。あれと、この地域支援事業とは全くレベルが違いますし、話にならないとは思いますが。

それはそれとして、「強み」のご当地としては大先生がおられるので、これを何かの機会にもうちょっと、地域の皆さんで、もうちょっと勉強して、そして前へ出していくとよいと思います。それに合わせて、「弱み」もあるのですが、これを議論すると、この協議については、ここで色々頑張っても、どうしようもないと思うのですね。本当は違う会議でも、やってもらえばよいことです。ですから「強み」と「チャンス」をもっと活かしていけたらなと思います。

#### 【牧繪委員】

私は牧野嶋副会長と丸山委員のおっしゃる通りだと思うのですが、横田委員のおっしゃることも、もの凄くよくわかりますし。やっぱり、最終的に自分の意見が反映されないと、いくら議論しても机上の愚論というか、そういうのにしかならないので、モチベーションというのもありますし、せっかく皆で真剣に出し合っているのに、少しくらい反映されれば、次の話合いに繋がるのではないかと考えています。そういう話し合いができればよいと思います。

**【町田会長】**

仮に、我々は検討しても実際は実行部隊ではないから、実行して行くとすれば、他の津有区の町内会長協議会があるから、そういうので動くとか色々やり方はあると思うのですが、ちゃんと形になるような検討をしていきたいと思います。

**【古川委員】**

皆さんとあまり変わらないのですが、ただ私が思う中で共通しているのは、地域住民の意識改革といいますか、色んな会合とかをセッティングしても、決まった人しか出て来ないので、「住んでいる人が自分の住んでいる所をよくしようとする」という根本的な意識改革が大事だと思います。ただ、具体的に何をやるかっていうのは、わかりませんが、その辺が一番大ではないかと思います。

**【平岡委員】**

私も、最後は少子高齢化になるのですが、私たちが自主防災組織を立ち上げているのですが、やっぱり出てくる人は役員、関係者しか出てこないんですよね。それで高齢者というか、ある程度動かれる人になるべく多く来てくれるようになると思います。個人情報との関係も出てきますけど、ある程度調べて無理しても顔だけでも出してもらえれば、ありがたいと思います。

**【服部委員】**

私も少子高齢者、あとお年寄りの単独世帯というのもそうなので。皆さんの所にもいったと思うのですが、7月17日の「今、地域でできること」、ここにちょっと行って見て、どうゆうふうに進められるのかというのを参考にしてみたいと思います。

**【町田会長】**

それは、ファームセンターか何かでやるのですよね。

**【服部委員】**

そうですね。何かひとつのきっかけになればなと思います。

**【手嶋委員】**

私が思うには、皆さんの所はちょっと分からないのですが、うちの町内は、少し昔から人数も増えないし、減らないです。だから、県道とか市道というのは、皆さん自分の家の繋がりみたいな感じで、綺麗にするのです。砂を取る、掃除をする、掃く、当たり前ですが皆さんやってらっしゃるのですよ。

でも、ちょっとここの辺を見ていると、この間も戸野目では、市だかどこの人かは

分かりませんが、袋を持った人たちが来て、暑い盛りに草むしりしたりしていました。同じ市道や県道で、同じ津有区の中でありながら、差があるのだな、不思議だなと思いました。

#### 【草間委員】

近くの企業の人たちが朝、地域ボランティアということで、行っているのだと思います。

#### 【手嶋委員】

そうですね。でも、企業がやることもよいとは思いますが、地域の人が、自分の住んでいる場所だったら一緒にやるとか、そういうことも大事だと思うのです。「あの人たちがやってくれるから、ここはやらなくてもよいのだ」という、自分の地域を人任せにしているのではないかというふうな思いもありますけど。そういうのを、皆で集まってお茶飲みしながら、自分たちで採るっていうのも、大事ですよ。あの人たちが、やってはいけないというわけではないですけど。

#### 【草間委員】

私は常々2つ、ずっと思っていました。1つは少子高齢化の「少子」。子供が生まれないという事です。桐原町内にすべり台をいただきましたが、期待できる男性はいっぱいいるのですが。なんとか公でそういう場面を作っていくことができないかと、ずっと常々思っていました。以前にそういう意見が出たこともありましたよね。お年寄りが増えるばかりですけど、子供は生んでくださらないと、増えていかない。

少子化というのは、結構、男女参画が引っ掛かってきていて、そういうところでも、また男性の方にも勉強していただかないと、「お嫁さんありませんよ」というようなところにも繋がるのですけども、少子化が凄く心配です。なんとかチャンスを与えたいと思います。

それと「前島密」。実は紙芝居を作りました。でも、「何で前島密を作らないの」と、最近すごく耳にします。「だって、皆もうよく知っているでしょう」と言うと、「知らないよ」と、以外に知らない人がいるのにびっくりしています。

これは、地元でありながら知らないのは、おかしいし、恥ずかしいです。

#### 【町田会長】

我々の年齢の人と、この辺の人はある程度知っているのだけでも、それよりもだんだん下にいくほど、知らなくなってしまうのだよ。だから、やっぱりそれを掘り起こ

して、伝えていかないかね。

**【牧野嶋副会長】**

我々も、もっと勉強しなくては駄目ですね。

「前島密」に関する団体とファーストコンタクトしたときに聞いたのが、「前島密をNHKの大河ドラマになるくらいにしたいのだという意気込みでやっている」とおっしゃっていました。そうなったら大変なことになってしまうし、現実的にはないかもしれないけど、よい意識ですよ。

**【小川委員】**

私は、少子高齢化ですね。「少子」は今話が出たのですが、「高齢化」は、必見の対策ですね。横田委員のご意見も本当に大事ですけども、ただ、こういうレベルでは、市も県、あるいは国のレベルでも、もちろん素晴らしく進化していますけども、ここはここで進化させる話を是非したいなと思っています。

**【太田委員】**

私の場合1番は、少子高齢化に対応する方策を検討したいと思います。いろんな角度から、老若男女がいろんな意見を交わせる場を作ったり、組織を作ったりできたらよいと思います。

また、「北部・南部の住民の一体感を醸成する取組を検討する」ということも加えながら、やっていければよいと思います。

**【上杉委員】**

私も皆さんと同じような意見ですけども、四ヶ所も年寄りが多くなってきましたし、子供はいないし。町内会の集まりも、老人会でも何でもそうですけど、皆が参加してもらえるような方向的なものから始めていかないと、何も伝わらないと思います。

**【町田会長】**

ありがとうございました。ということで、時間も過ぎていきますので、私の意見はほとんど皆さんと同じですので、今日のところは私の話はしないことにさせてもらって、これで終わりにしたいと思います。

5 その他

**【町田会長】**

それで、地域協議会だよりの速報版については、8月1日号の広報上越と併せて回

覧します。そこで、事務局から委員の皆さんに速報版を送付しますので、それぞれ担当の町内会長さんに、7月25日までにお届けください。よろしくお願いいたします。

また、次の開催日についてですが、内容については行政改革推進課の報告という事で、1時間くらいかかると思います。

－ 日程調整 －

それでは、次回は8月20日の午後6時30分からでお願いします。

その他、皆さまから何かありますか。

#### 【古川委員】

今、予定表を見ると、8月28日に諏訪区の委員が視察予定と入っているけど、例年うちらが行くときは、時期が遅すぎて雪とか寒さがあるので、できれば8月とか早い時期にしてもらいたいと思います。

#### 【町田会長】

8月はちょっとこれからでは難しいと思いますので、次回にその辺も含めて検討していきたいと思います。

## 6 閉 会

#### 【町田会長】

それでは、本日の議題は全て終了しました。ありがとうございました。

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。